

平成23年度
川口市教育委員会事務点検・外部評価報告書
(平成22年度実施事業)

川口市教育委員会

も く じ

■ はじめに 1 ～ 2

1 趣 旨	—————	1
2 目 的	—————	1
3 外部評価の対象	—————	1
4 外部評価の方法と順序	—————	1
5 外部評価結果	—————	2
6 今後の取り組み	—————	2
7 平成23年度外部評価委員	—————	2

■ 平成23年度施策評価一覧 3

■ 施策評価調書 4 ～ 32

No. 1	幼児教育の充実	——	5
No. 2	義務教育の充実	——	7
No. 3	高等学校教育の充実	——	11
No. 4	学校の教育力の向上	——	13
No. 5	学校教育施設の耐震化の推進	——	15
No. 6	社会教育施設の整備・充実	——	17
No. 7	生涯学習事業の充実	——	21
No. 8	生涯学習活動の支援	——	23
No. 9	スポーツ・レクリエーション活動の支援	——	25
No. 10	スポーツ施設の整備・充実	——	27
No. 11	文化財の保護と活用	——	29
No. 12	歴史的文書の保存と活用	——	31

はじめに

1 趣 旨

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成20年4月から、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

併せて、点検及び評価を行うに当たり、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、川口市教育委員会が行った事務点検・外部評価（以下「外部評価」という）の結果をまとめたものです。

2 目 的

川口市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検評価し、効果的な教育行政の推進に資すること並びにその結果を公表し市民への説明責任を果たしていくことを目的としています。

3 外部評価の対象

川口市では、市政運営の指針となる「第4次川口市総合計画」を平成22年度に策定し、行政分野別計画の第2章「教育・文化」に教育行政が取り組むべき12の施策を掲げています。この施策は平成23年度の教育行政重点施策とも重なっていることから、この12施策を外部評価の対象としました。

4 外部評価の方法と順序

「第4次川口市総合計画」に基づいた行政評価制度により内部による（自己）評価を行い、施策評価調書を作成しました。

この施策評価調書の各施策について教育に関し学識経験を有する外部の方々から、評価をいただくと共に、ご意見、ご助言をいただきました。

5 外部評価結果

全12施策の外部評価結果は、「達成されている」との評価が7施策、「どちらかという改善されている」との評価が5施策で、うち3施策において内部評価より低い評価となりました。

委員からは、全体を通して施策目標を表す指標の設定が施策目的と乖離しているものも多く見受けられたとのご意見がありました。また、教育には数値化が適さない施策も多いことから、事業や取り組みによっては、指標の目標や実績を数値でなく文章で表現するなど、評価の在り方や調書の表現について、今後、検討するべきとのご助言をいただきました。

例えば、No.2「義務教育の充実」については、知・徳・体の調和は概ね図られている。今後は、より施策の成果が示せるよう指標を検討してほしいとのご意見とともに、調書上、目的にある『生きる力』が児童生徒に育まれたのか解りづらい。指標の表現を見直すなどして、解りやすい調書の作成を検討するべきとのご助言をいただきました。

また、No.8「生涯学習活動の支援」については、人材バンク事業は市民の学習活動意欲を高める事業であり、今後は、登録者の活躍の場を広げるため、事業の周知、及び社会情勢や市民ニーズを捉えた講座を開催できる人材の育成に取り組んでほしいとのご意見をいただきました。

6 今後の取り組み

今回の外部評価でいただいた意見、助言をもとに、まず、自己の施策について教育委員会として再検証を行います。次に今後の事業へフィードバックし、より効果的な本市ならではの教育行政を推進していきます。

また、指標や目標値の設定についても見直しを図り、より分かりやすく適確に、市民への説明責任を果たしていきたいと考えています。

7 平成23年度外部評価委員

(50音順 敬称略)

氏名	備考
加藤直実	川口市PTA連合会 前会長
白石和夫	文教大学教育学部 教授
南勇	川口市退職校長会 幹事長

平成23年度施策評価一覧

章	節	施策 No.	コード	施策名	主管課	総合評価 (内部における評価)				外部評価			
						達成 されている	改善 さらか れている という と	改 善 さら か れて いな い と	改 善 さ れ て い な い	達成 されている	改善 さらか れている という と	改 善 さら か れて いな い と	改 善 さ れ て い な い
第2章 教育・文化													
第1節 知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざす学校教育の推進													
	No.1	211		幼児教育の充実	教育総務課	○				○			
	No.2	212		義務教育の充実	指導課		○				○		
	No.3	213		高等学校教育の充実	学務課		○				○		
	No.4	214		学校の教育力の向上	指導課	○				○			
	No.5	215		学校教育施設の耐震化の推進	教育総務課	○				○			
第3節 生涯学習の推進													
	No.6	231		社会教育施設の整備・充実	社会教育課	○					○		
	No.7	232		生涯学習事業の充実	社会教育課	○				○			
	No.8	233		生涯学習活動の支援	社会教育課	○					○		
第4節 スポーツ・レクリエーション活動の推進													
	No.9	241		スポーツ・レクリエーション活動の支援	体育課	○				○			
	No.10	242		スポーツ施設の整備・充実	体育課	○				○			
第6節 文化財の保護・活用													
	No.11	261		文化財の保護と活用	社会教育課	○				○			
	No.12	262		歴史的文書の保存と活用	社会教育課	○					○		
						10	2	0	0	7	5	0	0

施策評価調書

施策コード	211	施策名称	2章1節 幼児教育の充実		
主担当	教育総務部	教育総務課	電話番号	内線 2451	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
 幼児が学校教育の始まりである幼稚園で、基本的な生活習慣を身に付け、学習意欲を養い、小学校生活がスムーズにスタート出来るよう教育環境を整備する。これにより、幼児が生活や遊びの中で様々な体験を通し、情緒面・知的面での発達及び社会性を養う基礎を育むことを目的とする。

指標①	名称	私立幼稚園定員充足率				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	園児数/定員数×100							
	目標値根拠	過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	91.0	91.0	92.0	92.0	93.0			
	実績値・達成状況	91.3	達成						
指標②	名称	就園率				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	園児数/3、4、5歳児人口×100							
	目標値根拠	過去の実績から算出							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	66.0	66.0	67.0	67.0	68.0			
	実績値・達成状況	66.5	達成						
指標③	名称					単位	%	指標の種類	活動
	算式等								
	目標値根拠								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況		—						

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	683,359	710,799	710,818	710,818
	概算人件費	17,055	16,865	16,865	16,865
	総事業費	700,414	727,664	727,683	727,683
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
園児保護者に対して、経済的負担を軽減し園児の認可私立幼稚園への就園・通園を確保するため、所得に応じて補助を行った。また、幼稚園に対しては、教職員の質向上を図るため研修費補助を川口市私立幼稚園協会を通じて行ったほか、施設改修・改善のための資金借入に対し利子助成を行った。	保護者への補助は、園児の私立幼稚園への就園・通園の一助となり、園児は就学前に学校教育の基礎を育むことができた。また、研修費補助は、研修内容の充実及び教員の質向上に繋がり、幼稚園教育の充実が図られた。資金借入に係る利子助成については、現在、6園に実施しており、園児の安全性の向上や施設の充実に繋がった。

残されている課題
 各種補助及び助成については、幼児教育の充実を踏まえつつ、市民ニーズや時代性に合った制度となるよう、関係機関等と協議を行いながら精査・確認していく必要がある。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	実施している補助及び助成制度について、市民ニーズや時代性を踏まえるとともに、幼児教育の充実にとって、より効果的・効率的な制度となるよう検討していく。
	達成されている	

外部評価	評価結果	コメント 各施策については今後もしっかり取り組むとともに、幼保一元化についても研究してほしい。また、市立幼稚園の役割や小・中学校との連携なども取り組みに載せられるよう検討してほしい。なお、指標については、施策の成果を正確に示せるよう、目標値の定め方も含めて検討してほしい。
	達成されている (前回評価結果)	
	達成されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード 211 施策名称 2章1節 幼児教育の充実

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2110016	私立幼稚園事務費交付金	教育総務課	5,340	5,340		現状維持で実 施
			2,715	2,685		
2110026	私立幼稚園就園奨励費補助金	教育総務課	602,714	626,749		現状維持で実 施
			4,455	4,405		
2110036	私立幼稚園園児保護者補助金	教育総務課	49,405	52,800		現状維持で実 施
			2,715	2,685		
2110046	私立幼稚園教育研修費補助金	教育総務課	11,988	10,000		現状維持で実 施
			1,410	1,395		
2110056	私立幼稚園設備資金借入利子助成 金	教育総務課	3,525	5,232		現状維持で実 施
			1,305	1,290		
2110066	私立幼稚園幼児等健康診断補助金	教育総務課	6,993	6,993		現状維持で実 施
			1,410	1,395		
2110076	無認可幼稚園(舎)園児保護者補助 金	教育総務課	3,194	3,485		現状維持で実 施
			1,305	1,290		
2110082	幼稚園振興運営事業	指導課	170	170		現状維持で実 施
			1,740	1,720		
2110096	市立幼稚園教育研究協議会授業研 究助成金	指導課	30	30		現状維持で実 施
			0	0		

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
主担当	学校教育部	指導課	電話番号 2498

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

児童生徒一人一人に「生きる力」を育むため、教育内容の充実、教育環境の整備、健康教育と学校給食の充実、特別支援教育の充実等に取り組み、知徳体の調和のとれた人間形成を目指す義務教育の充実を図ります。

指標①	名称	学力達成目標効果検証結果(小学校)				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	「読む・書く」と「計算」の平均正答率(第6学年)							
	目標値根拠	埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	94.2	未達成						
指標②	名称	学力達成目標効果検証結果(中学校)				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	「読む・書く」と「計算」の平均正答率(第3学年)							
	目標値根拠	埼玉県「教育に関する3つの達成目標」に係る目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	92.4	未達成						
指標③	名称	小中学校体力テスト調査結果				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	全国平均を上回っている項目数÷全項目数×100(小中学校)							
	目標値根拠	第4次川口市総合計画の目標値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値・達成状況	54.2	達成						

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	1,056,712	1,252,267	2,510,317	3,344,114
	概算人件費	129,090	125,940	125,940	128,520
	総事業費	1,185,802	1,378,207	2,636,257	3,472,634
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
子どもたちに生きる力を育むために、学力向上・徳力向上・体力向上推進委員会を通して学校への支援事業を進めてきました。また、特別支援教育や健康教育・学校給食の充実等に取り組んできました。	小中学校ともに学力達成目標の検証結果が向上し、体力向上や健康教育等において全国表彰を受ける学校が出ました。また、特別支援学級の新設や学校給食の改革など一定の成果をあげることができました。

残されている課題

学力達成目標は県平均に達しましたが目標値には届いていません。県の学習状況調査は県平均をやや下回っています。体力テストでは、目標値を上回りましたが、投力など多くの課題があります。新学習指導要領全面实施に対応した教育環境の整備、特別支援学級の設置率向上や給食センター建設事業の計画的推進が重要です。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	どちらかという改善されている (前回評価結果)	「生きる力」を育むために、児童生徒の実態を把握し、課題を明らかにして、指導方法の工夫改善を促して教育内容の充実に努めるとともに、健康教育や特別支援教育の一層の推進を図ります。今後も、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成に取り組んでまいります。
	どちらかという改善されている	

外部評価	評価結果	コメント
	どちらかという改善されている (前回評価結果)	学力は県平均並み、体力は国平均を上回るなど、各々改善され調和も図られている。知・徳・体の向上には、教員の努力が必要なのはいうまでもないが、保護者の家庭教育に対する関心を高めることも重要であるので、引き続き事業に取り組んでほしい。指標については、事業数が多く選定に苦慮している状況は窺えるが、より施策の成果が示せるものを検討してほしい。
	どちらかという改善されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費	事業費		
			概算人件費	概算人件費		
2120011	元郷南小学校仮設教室設置事業	教育総務課	17,184	12,390	/	縮小して実施
			435	430		
2120021	戸塚北小学校仮設教室設置事業	教育総務課	15,118	0	/	完了
			435	0		
2120033	学校施設地上デジタル放送アンテナ設置工事	教育総務課	8,027	0	/	完了
			435	0		
2120041	放課後子どもプラン事業	社会教育課	6,589	10,000	/	拡充して実施
			5,655	5,590		
2120056	川口市PTA連合会補助金	社会教育課	900	900	/	現状維持で実施
			0	0		
2120061	小学校・中学校教科書改訂(4年に1回)に伴う事業	学務課	1,289	60,700	/	現状維持で実施
			435	430		
2120071	専任講師配置事業	学務課	4,623	5,000	/	現状維持で実施
			870	860		
2120082	大貫海浜学園事業	学務課	77,015	73,642	/	現状維持で実施
			10,800	10,700		
2120092	水上少年自然の家事業	学務課	132,147	150,852	/	現状維持で実施
			26,100	25,800		
2120102	教育パブリシティプラン事業	学務課	1,178	1,208	/	現状維持で実施
			1,740	1,720		
2120112	新しい学校のシステムづくりプラン事業	学務課	32,353	34,288	/	現状維持で実施
			8,700	8,600		
2120126	各種競技会全国・関東大会等派遣補助金	学務課	3,246	4,681	/	現状維持で実施
			435	430		
2120136	学校等災害見舞金	学務課	60	350	/	現状維持で実施
			0	0		
2120146	鼓笛隊活動助成金	学務課	1,320	1,350	/	現状維持で実施
			435	430		
2120156	必修外クラブ活動助成金	学務課	8,756	8,913	/	現状維持で実施
			435	430		
2120166	プラスバンド活動助成金	学務課	7,100	7,350	/	現状維持で実施
			435	430		
2120176	記念事業費助成金	学務課	326	700	/	現状維持で実施
			0	0		
2120181	特別支援教育支援員配置事業	指導課	43,191	46,599	/	拡充して実施
			2,610	2,580		
2120191	中学校理科教育振興費備品購入事業	指導課	6,163	4,316	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120202	コンピュータ教育環境整備事業	指導課	248,010	241,692	/	現状維持で実施
			4,350	4,300		
2120212	快適環境づくり運動事業	指導課	900	810	/	現状維持で実施
			840	860		
2120222	学校教育研究支援事業	指導課	1,086	1,013	/	現状維持で実施
			870	860		
2120232	教育研修生事業	指導課	63	58	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120242	教育講演会事業	指導課	292	277	/	現状維持で実施
			0	0		
2120252	国際理解教育促進事業	指導課	66,345	65,780	/	現状維持で実施
			4,350	4,300		

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	212	施策名称	2章1節 義務教育の充実
-------	-----	------	--------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費	事業費		
			概算人件費	概算人件費		
2120262	川口こども造形展事業	指導課	432	420	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120272	小学校学習支援事業	指導課	2,340	3,100	/	現状維持で実施
			870	860		
2120282	中卒就職者壮行会事業	指導課	181	159	/	現状維持で実施
			870	860		
2120292	中学校学習支援事業	指導課	440	680	/	現状維持で実施
			870	860		
2120302	中学生英語弁論大会事業	指導課	77	69	/	現状維持で実施
			4,350	4,300		
2120312	発明創意工夫展事業	指導課	40	35	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120322	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	指導課	194,480	194,759	/	現状維持で実施
			14,355	14,190		
2120332	学力向上支援事業	指導課	125	111	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120342	小学校障害児送迎事業	指導課	14,700	22,050	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120352	障害児学級合同作品展事業	指導課	334	334	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120362	特別支援学級児童生徒就学奨励事業	指導課	5,705	6,396	/	現状維持で実施
			870	860		
2120372	障害児就学支援事業	指導課	547	490	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2120382	きらり川口夢わーく社会体験事業	指導課	674	727	/	現状維持で実施
			870	860		
2120416	音楽鑑賞教室補助金	指導課	3,800	3,800	/	現状維持で実施
			0	0		
2120426	各教科等授業研究会助成金	指導課	450	450	/	現状維持で実施
			0	0		
2120436	川口市教育研究会助成金	指導課	198	177	/	現状維持で実施
			0	0		
2120446	職業教室開催補助金	指導課	247	150	/	現状維持で実施
			870	860		
2120456	川口市学校体育協会助成金	指導課	30	30	/	現状維持で実施
			0	0		
2120461	自動体外式除細動器管理事業	学校保健課	2,798	3,000	/	現状維持で実施
			870	860		
2120471	学校給食食器改善事業	学校保健課	71,590	74,663	/	現状維持で実施
			1,740	1,720		
2120482	学校保健普及啓発事業	学校保健課	1,967	1,966	/	現状維持で実施
			1,740	1,720		
2120492	学校給食指導研修事業	学校保健課	154	237	/	現状維持で実施
			1,740	1,720		
2120503	(新)学校給食センター建設事業	学校保健課	3,990	202,970	/	拡充して実施
			2,610	2,580		
2120516	心臓検診補助金	学校保健課	344	900	/	現状維持で実施
			870	860		
2120526	川口市学校保健会補助金	学校保健課	1,465	1,275	/	効率化して実施
			870	860		

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード 212 施策名称 2章1節 義務教育の充実

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2120536	給食費補助金	学校保健課	16,142	-	/	他事業に統合 されて実施
			1,740	1,720		
2120546	定時制高等学校夜食費補助金	学校保健課	510	450	/	縮小して実施
			870	860		
2120556	学校給食協会事務費補助金	学校保健課	49,671	0	/	廃止
			870	0		
2120563	(仮称)教育センター建設事業 *	指導課	0	0	/	休止
			0	0		
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実		
主担当	学校教育部	学務課	電話番号	2482	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

地域発展の一翼を担い、地域の文化を支える人材を育成する教育活動を推進する。

指標①	名称	就職内定率				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	就職内定者÷就職希望者×100							
	目標値根拠	県平均を上回る95%を目標に就職支援を行っている。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0			
	実績値・達成状況	93.2	未達成						
指標②	名称	奨学貸付事業				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	貸付人数÷申込人数×100							
	目標値根拠	貸付率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	100.0	達成						
指標③	名称					単位		指標の種類	
	算式等								
	目標値根拠								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	215,560	238,139	238,139	238,139
	概算人件費	7,395	7,310	7,310	7,310
	総事業費	222,955	245,449	245,449	245,449
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
市立高校3校に各1名の就職カウンセラーを配置し就職支援を行い、また、経済的な理由により就学が困難な生徒に対して奨学事業を実施している。	生徒一人一人の進路希望の支援及び経済的支援が図られている。

残されている課題

これまでの取組や支援状況を踏まえ、可能な限り各事業を充実させる必要がある。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	どちらかという改善されている	財政状況を勘案しながら可能な限り各事業の充実を図っていきたい。
	(前回評価結果)	
どちらかという改善されている		

外部評価	評価結果	コメント
	どちらかという改善されている	昨今の経済情勢において、奨学貸付による就学支援や就職カウンセラーによる就職支援などは、高校生の勉強や将来を支える重要な事業と考える。今後とも学力向上に繋がる事業を含め、より力を入れて取り組んでほしい。また、指標については、生徒の進学状況等も取り入れてほしい。
	(前回評価結果)	
どちらかという改善されている		

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	213	施策名称	2章1節 高等学校教育の充実
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位: 千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2130012	奨学貸付事業	学務課	210,364	231,700	/	現状維持で実施
			4,350	4,300		
2130026	全国高等学校総合文化祭等派遣交付金	学務課	2,257	3,500	/	現状維持で実施
			435	430		
2130032	市立高等学校改革プラン関連事業	指導課	2,889	2,889	/	現状維持で実施
			870	860		
2130042	高等学校学習支援事業	指導課	50	50	/	現状維持で実施
			1,740	1,720		
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上		
主担当	学校教育部	指導課	電話番号	2498	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
 生きる力を育むためには、学校の教育力の向上を図ることが大切です。そこで、海外派遣や市内施設を活用した特色ある教育活動の充実を図ります。また、教職員の資質・指導力の向上を図るための職員研修の充実を図るとともに児童生徒の不登校やいじめに対応するため教育相談の充実を図ります。

指標①	名称	不登校出現率(小学校)			単位	%	指標の種類	成果
	算式等	全児童数に対する年間30日以上欠席者の割合						
	目標値根拠	県平均・全国平均出現率						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	0.32	0.31	0.31	0.30	0.30		
	実績値・達成状況	0.32	達成					
指標②	名称	不登校出現率(中学校)			単位	%	指標の種類	成果
	算式等	全生徒数に対する年間30日以上欠席者の割合						
	目標値根拠	県平均・全国平均出現率						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	3.80	3.60	3.40	3.30	3.20		
	実績値・達成状況	3.73	達成					
指標③	名称				単位	%	指標の種類	成果
	算式等							
	目標値根拠							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値							
	実績値・達成状況							

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	153,227	148,104	149,401	149,401
	概算人件費	70,120	65,060	65,060	65,060
	総事業費	223,347	213,164	214,461	214,461
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
特色ある教育活動の充実をめざして、海外派遣事業、ジュニア議会、校外学習など児童・生徒に魅力ある事業を提供しています。また、学校経営、教科指導、生徒指導など様々な分野の研修や教育相談の充実を目指しています。	特色ある教育活動の推進や教員研修の充実が、教育力の向上に寄与しています。教育相談の充実によって3年連続不登校児童生徒数が減少した。

残されている課題
 教員の資質向上は、学校の教育力の向上につながります。今後も、指導力の向上を目指した研修が行えるように、研修プログラムの充実を図っていきます。また、いじめ、不登校、非行など現代的課題を解決するために、引き続き教育相談等の環境整備に努めます。さらに、施設の活用を図った本市独自の特色ある教育活動を進めます。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	各学校における課題を明らかにし、指導方法や教材の工夫改善を研究し、学校の特色に応じた教育力の向上に取り組むと考えています。
	どちらかという改善されている	

外部評価	評価結果	コメント 児童生徒向けの各種事業や教員研修を実施し、学校の力を高め、不登校やいじめ等の低減に取り組んでいることは重要であり、評価できる。ただし、不登校出現率のみでは指標の範囲があまりにも狭い。教育力の向上を示す指標について、目標値も含め検討してほしい。
	達成されている (前回評価結果)	
	どちらかという改善されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	214	施策名称	2章1節 学校の教育力の向上
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費	事業費		
			概算人件費	概算人件費		
2140012	通学区自由化プラン事業	学務課	2,927	3,136		現状維持で実施
			13,920	13,760		
2140026	学校サポートプラン交付金	学務課	8,872	8,060		効率化して実施
			5,220	5,160		
2140035	中学生海外派遣補助事業	指導課	6,406	6,406		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140045	高校生海外派遣補助事業	指導課	8,380	8,380		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140052	ジュニア議会事業	指導課	166	169		現状維持で実施
			870	860		
2140062	校外学習事業	指導課	29,843	28,935		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140072	学校ファーム推進事業	指導課	900	1,000		現状維持で実施
			870	860		
2140082	その他教育研修事業	指導課	365	466		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140092	課題研究事業	指導課	20	25		現状維持で実施
			870	860		
2140102	学校経営研修事業	指導課	241	241		現状維持で実施
			870	860		
2140112	情報基礎教員研修事業	指導課	168	131		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140122	フィンランド教育研究事業	指導課	5,000	0		完了
			4,350	0		
2140132	教育相談支援員活用事業	指導課	41,760	41,760		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140142	教育カウンセラー活用事業	指導課	16,881	18,116		現状維持で実施
			4,350	4,300		
2140152	教育相談員活用事業	指導課	27,063	27,186		現状維持で実施
			8,350	8,300		
2140162	不登校児童生徒適応支援事業	指導課	1,206	1,234		現状維持で実施
			2,610	2,580		
2140172	日本語補充教室事業	指導課	304	439		拡充して実施
			870	860		
2140182	訪問相談員活用事業	指導課	1,165	1,010		現状維持で実施
			870	860		
2140196	文化交流使節団派遣事業交付金	指導課	1,500	1,350		現状維持で実施
			0	0		
2140206	非行防止対策協議会補助金	指導課	60	60		現状維持で実施
			0	0		

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	215	施策名称	2章1節 学校教育施設の耐震化の推進		
主担当	教育総務部	教育総務課	電話番号	2454	

<p>目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>学校教育施設は、地震発生時において児童生徒の安全の確保をすることはもとより、地域住民の一時的な避難場所ともなることから、平成7年6月16日に制定された地震防災対策特別措置法に基づき、耐震化の推進を図るもの。</p>

指標①	名称	小・中学校耐震化整備事業				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	耐震化棟数÷学校施設総数×100							
	目標値根拠	小・中学校耐震化整備計画事業							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(28年度)			
	目標値	70.3	80.4	93.3	96.2	100.0			
	実績値・達成状況	70.3	達成						
指標②	名称					単位		指標の種類	
	算式等								
	目標値根拠								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								
指標③	名称					単位		指標の種類	
	算式等								
	目標値根拠								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	4,549,090	2,542,094	3,526,278	1,526,764
	概算人件費	14,355	9,030	9,030	9,030
	総事業費	4,563,445	2,551,124	3,535,308	1,535,794
事業費及び概算人件費の変動要因					

<p>取り組みの内容</p> <p>小・中学校耐震化整備計画に基づき、20校21棟の耐震補強工事を実施。本町小学校の改築はグラウンド整備工事、旧校舍解体工事を実施。元郷南小学校の改築はⅡ期工事、グラウンド整備工事及び太陽光発電設備設置工事を実施。青木中央小学校改築は実施設計を実施し、23年度から改築工事を実施する予定。</p>	<p>取り組みの成果</p> <p>20校21棟の耐震補強工事に伴い、耐震化率は目標値70.3%を達成。本町・元郷南小学校は新校舎完成に伴い事業完了。青木中央小学校は実施設計を実施し、23年度から改築工事を実施する予定。</p>
<p>残されている課題</p> <p>学校施設の耐震化は一時的に多大な財政支出を要するため、財政状況を勘案しながら、地震防災対策特別措置法による平成27年度までの補助の特例を効果的に活用し、耐震化を進める必要がある。</p>	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている	財政状況を勘案したうえで、計画に基づき耐震化を進めるよう努める。
	(前回評価結果)	
どちらかという改善されている		

外部評価	評価結果	コメント
	達成されている	
	(前回評価結果)	
どちらかという改善されている		小・中学校を始め、学校教育施設は、児童生徒の安全・安心を確保するとともに、地域住民の避難所としての役割もあることから、耐震化の確保・老朽施設の整備等、財源を確保しながら早急に進めてほしい。

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード 215 施策名称 2章1節 学校教育施設の耐震化の推進

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度事業費	23年度事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2150013	学校施設耐震補強事業	教育総務課	1,522,107	1,932,153	/	現状維持で実施
			7,830	7,740		
2150023	本町小学校改築事業	教育総務課	286,418	0	/	完了
			1,740	0		
2150033	元郷南小学校改築事業	教育総務課	2,639,005	0	/	完了
			1,305	0		
2150041	元郷南小学校改築事業初度調弁	学務課	83,395	0	/	完了
			2,175	0		
2150053	学校改築事業	教育総務課	18,165	609,941	/	現状維持で実施
			1,305	1,290		
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実		
主担当	教育総務部	社会教育課	電話番号	2479	

<p>目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)</p> <p>市民の生涯学習を推進するため、社会教育施設の整備・充実を図り、市民一人ひとりが自ら生涯にわたり学び続け、生きがいづくり、自己実現を目指し、地域社会の醸成に努めることを目的とします。</p>
--

指標①	名称	公民館・専門施設の講座参加者数			単位	人	指標の種類	成果
	算式等	公民館・専門施設の講座参加者数を合計したもの						
	目標値根拠	第4次川口総合計画の目標指標						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	280,000	280,000	280,000	280,000	280,000		
	実績値・達成状況	264,057	未達成					
指標②	名称	図書館資料貸出数			単位	点	指標の種類	活動
	算式等	20年度現状値 + (27年度目標値 - 20年度現状値) ÷ 7年 × 2年						
	目標値根拠	第4次川口総合計画の目標指標より算出したもの。						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	3,263,946	3,331,157	3,398,368	3,465,579	3,600,000		
	実績値・達成状況	3,232,239	—					
指標③	名称	科学館施設利用者数			単位	人	指標の種類	活動
	算式等	科学館内の各事業参加者数を合計したもの						
	目標値根拠	過去3年の実績を参考に設定						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000		
	実績値・達成状況	127,694	未達成					

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	1,320,770	638,368	759,868	569,858
	概算人件費	157,396	138,829	138,929	138,069
	総事業費	1,478,166	777,197	898,797	707,927
事業費及び概算人件費の変動要因					

<p>取り組みの内容</p> <p>公民館は地域に密着した社会教育施設として整備し、地域住民の学習支援と自主的に活動している社会教育関係団体等の育成・支援をしてきた。図書館、科学館は市全域を対象とした学習施設として誰もが気軽に利用できる施設として機能充実を図りました。</p>	<p>取り組みの成果</p> <p>公民館は、並木公民館建替事業及び芝北公民館耐震補強事業が完了しました。図書館は、入館者数、貸出数共に、東日本大震災の影響がみられるものの、順調に推移しました。科学館は、時節にあった事業や学校連携の推進の結果、安定した利用者数が得られました。</p>
--	--

<p>残されている課題</p> <p>公民館等の施設は、利用者数が横ばい状態となっており、利用者の固定化が進んでいます。また、老朽化している施設については、計画的に維持・補修等を進めてまいります。科学館は、利用者の拡大のため、今後は市外に向けた広報の強化に努める必要があります。なお、一部の機器に老朽化が見受けられます。</p>
--

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている	市民の生涯学習を推進するため、多様な学習機会の提供と社会教育施設の整備・充実を図ります。
	(前回評価結果)	
達成されている		

外部評価	評価結果	コメント
	どちらかという改善されている	施設の整備・耐震化は今後も計画的に進めてほしい。また、高額な事業費を投入していることから、市民にもっと還元できるよう、職員の資質向上策も考え、各施設の講座参加者や施設利用者の向上に繋がるようにしてほしい。事業の周知や募集、開催方法等の工夫にも努めてほしい。指標については、目標値の表し方について、統一できるか検討してほしい。
	(前回評価結果)	
達成されている		

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費	事業費		
			概算人件費	概算人件費		
2310011	並木公民館建替事業初度調弁	社会教育課	6,528	0	\	完了
			870	0		
2310022	施設予約システム事業	社会教育課	2,726	2,289	\	現状維持で実 施
			6,090	6,020		
2310032	公民館社会教育関係団体育成事業	社会教育課	51	300	\	現状維持で実 施
			0	0		
2310042	公民館施設運営事業	社会教育課	220,502	166,315	\	効率化して実 施
			6,090	6,020		
2310052	婦人会館施設運営事業	社会教育課	476	573	\	現状維持で実 施
			11,280	11,160		
2310062	青少年会館施設運営事業	社会教育課	356	433	\	現状維持で実 施
			11,280	11,160		
2310072	文化会館施設運営事業	社会教育課	755	801	\	現状維持で実 施
			15,660	15,480		
2310082	中央ふれあい館施設運営事業	社会教育課	1,440	1,538	\	現状維持で実 施
			13,785	14,100		
2310093	並木公民館建替事業	社会教育課	668,371	0	\	完了
			8,800	0		
2310103	アスベスト対策事業(文化会館)	社会教育課	5,836	0	\	完了
			1,740	0		
2310113	市街地施設付住宅耐震補強事業 (公民館等)	社会教育課	17,342	74,075	\	拡充して実施
			870	760		
2310126	公民館地区文化祭実行委員会交付 金	社会教育課	2,900	3,000	\	現状維持で実 施
			0	0		
2310136	中央ふれあい館文化祭実行委員会 交付金	社会教育課	100	100	\	現状維持で実 施
			0	0		
2310146	婦人会館文化祭実行委員会交付金	社会教育課	100	100	\	現状維持で実 施
			0	0		
2310152	図書館施設運営事業(図書館業務 補助委託)	中央図書館	187,557	188,429	\	現状維持で実 施
			0	0		
2310162	移動図書館運営事業	中央図書館	2,054	2,061	\	現状維持で実 施
			8,190	8,120		
2310172	芝北文庫運営事業	中央図書館	1,530	1,564	\	現状維持で実 施
			4,785	4,730		
2310182	幼児・児童対象事業	中央図書館	644	680	\	現状維持で実 施
			5,220	5,160		
2310192	ボランティア養成講座事業	中央図書館	540	584	\	現状維持で実 施
			3,480	3,440		
2310202	対面朗読事業	中央図書館	438	532	\	現状維持で実 施
			3,480	3,440		
2310212	保護者対象事業	中央図書館	2	0	\	現状維持で実 施
			870	860		
2310223	アスベスト対策事業(横曽根図書館) *	中央図書館	0	0	\	
			0	0		
2310232	科学展示施設運営事業	科学館	40,431	39,860	\	現状維持で実 施
			11,556	11,428		
2310242	サイエンスショー開催事業	科学館	353	533	\	現状維持で実 施
			4,959	4,472		
2310252	科学体験教室開催事業	科学館	281	311	\	現状維持で実 施
			3,654	3,612		

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード 231 施策名称 2章3節 社会教育施設の整備・充実

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2310262	サイエンスセミナー開催事業	科学館	283	286	/	現状維持で実施
			4,611	4,128		
2310272	天文台施設運営事業	科学館	574	728	/	現状維持で実施
			9,353	7,099		
2310282	プラネタリウム施設運営事業	科学館	21,193	20,715	/	縮小して実施
			12,487	9,449		
2310292	科学館特別企画事業	科学館	5,779	6,338	/	現状維持で実施
			8,286	8,191		
2310302	社会教育施設指定管理者管理運営事業	中央図書館	131,628	126,223	/	現状維持で実施
			0	0		
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策評価調書(2)

評価対象年度	22年度事業
--------	--------

施策コード	231	施策名称	2章3節 社会教育施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位: 千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		

注) 事業名の末尾に * マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実		
主担当	教育総務部	社会教育課	電話番号	2463	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市民一人ひとりが主体的に学ぶ「ふれあって 学ぶ生涯 人づくり」を本市のキャッチフレーズとし、自発的、主体的にいつでも学べる多種多様な講座、さらに専門性の高い分野や現代的課題等の学習機会の提供に努め、市民一人ひとりが正しい知識と技術を身につけることを目的としています。

指標①	名称	川口市民大学講座数				単位	回	指標の種類	成果
	算式等	(教育委員会主催講座+社会教育施設主催講座)×4							
	目標値根拠	教育委員会主催講座(7講座)および社会教育施設主催講座(24講座)を実施。1講座4回以上開催。							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	75	124	124	124	124			
	実績値・達成状況	136	達成						
指標②	名称	川口市民大学事業参加率				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	定員に対する応募者数							
	目標値根拠	川口市民大学の申込み率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	124.3	達成						
指標③	名称					単位		指標の種類	
	算式等								
	目標値根拠								
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値								
	実績値・達成状況								

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「-」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	2,037	2,666	2,666	2,666
	概算人件費	6,960	6,880	6,880	6,880
	総事業費	8,997	9,546	9,546	9,546
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
平成19年度より川口市民大学を開校し、現代的課題等の講座や放送大学、埼玉学園大学、科学館と共催し多種多様な幅広い講座を展開しています。	市内外の高等教育機関と連携し共催することにより、質の高い講座が開催でき、受講者の増加に繋がっています。

残されている課題

講座の開催場所の規模や、講座内容により、参加希望者を限定せざる得ないことから、会場の確保が課題となっております。また「自発的、自主的にいつでも誰もが」という生涯学習の基本理念を基に、個人の学習成果を地域社会に活かせる環境づくりや、支援体制を充実させることが今後の重要な課題となっております。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	今後は、現代的課題を踏まえたうえで、社会人の若い世代にも目を向けた事業展開を検討しています。
	どちらかという改善されている	

外部評価	評価結果	コメント
	達成されている (前回評価結果)	市民に学習機会を提供し、誰もが学べる環境を整備することは、市民ニーズに合致している。また、応募者も目標値を超えており、今後も継続すべき事業である。ただ、受講者や年齢層が限定されてしまっている。今後は、いかに若い年齢層を取り込むかが課題である。講座の回数も検討してほしい。
	どちらかという改善されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度	22年度事業
--------	--------

施策コード	232	施策名称	2章3節 生涯学習事業の充実
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2320012	川口市民大学事業	社会教育課	2,037 6,960	2,666 6,880		現状維持で実 施

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援		
主担当	教育総務部	社会教育課	電話番号	2461	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

川口市に在住、在勤している市民が公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に生かし、お互いの生きがいに繋げていくことを目的としている。

指標①	名称	人材バンク魅学登録者数				単位	人	指標の種類	成果
	算式等	年度ごとの登録者数							
	目標値根拠	過去3年間の登録者数の平均値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	200	200	200	200	200			
	実績値・達成状況	189	未達成						
指標②	名称	人材バンク魅学依頼件数				単位	件	指標の種類	成果
	算式等	年度ごとの依頼件数							
	目標値根拠	過去3年間の依頼件数の平均値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	29	30	30	30	30			
	実績値・達成状況	33	達成						
指標③	名称	人材バンク魅学の講師による講座参加者数				単位	人	指標の種類	成果
	算式等	年度ごとの講座参加者数							
	目標値根拠	過去3年間の講座参加者数の平均値							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	1,000	1,700	1,700	1,700	1,700			
	実績値・達成状況	1,249	達成						

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	48	48	48	48
	概算人件費	4,350	4,300	4,300	4,300
	総事業費	4,398	4,348	4,348	4,348
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
生涯学習時代において、市民が公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を人材バンクに登録し、市内の個人、団体、サークル等の学習活動の求めに応じてその知識や技術を提供するものです。	公民館等の各種講座で身につけた知識や技術を他の人々の学習に生かし、お互いの生きがいに繋げ生涯学習社会の充実に努めました。
残されている課題	
市民の知的要求に応えるため、内容の充実した講座開催が課題となっており、学校教育との連携を図りながら人材バンク魅学登録者の活動の場を広げ事業の充実に努めていくことが課題です。	

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	人材バンク魅学は、ボランティアであることの原則を踏まえ、啓発等に努めながら今後の生涯学習社会構築を見据え、登録者の増加を図り事業の充実に取り組んでいきます。
	どちらかという改善されている	

外部評価	評価結果	コメント
	どちらかという改善されている (前回評価結果)	市民の学習活動意欲を高める事業であり、より一層の推進を期待する。今後は、「残されている課題」(上記)にあるように、登録者の活躍の場を広げることが重要と考えられるので、事業の周知、及び社会情勢や市民ニーズを捉えた講座の開催が行なえる人材の育成などに取り組んでほしい。
	どちらかという改善されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	233	施策名称	2章3節 生涯学習活動の支援
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2330012	人材バンク事業	社会教育課	48 4,350	48 4,300		現状維持で実 施

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援
主担当	教育総務部	体育課	電話番号 2544

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

高齢化の進展に伴い、市民の健康志向が益々高まりを見せている中、より多くの方がスポーツ・レクリエーション活動事業に参加する機会を増やすため、各種スポーツ団体の活動を支援するもの。また、社会体育普及のためのスポーツ・レクリエーション指導者の育成・充実を図ることを目的とするもの。

指標①	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加者数		単位	人	指標の種類	成果
	算式等	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計					
	目標値根拠	平成18年度実績値によるもの(ただし、種目により増加が見込めるものは前年度の1割)					
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)	
	目標値	41,700	44,700	47,600	50,600	56,600	
	実績値・達成状況	59,163	達成				
指標②	名称	スポーツ・レクリエーション活動事業参加率		単位	%	指標の種類	成果
	算式等	各事業(なわとび大会など)の参加者数の合計/当初見込参加者数×100					
	目標値根拠	最大参加率					
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)	
	目標値	74.0	79.0	84.0	89.0	100.0	
	実績値・達成状況	105.0	達成				
指標③	名称			単位		指標の種類	
	算式等						
	目標値根拠						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)	
	目標値						
	実績値・達成状況						

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	895,936	890,973	889,879	889,879
	概算人件費	286,723	292,214	292,214	292,214
	総事業費	1,182,659	1,183,187	1,182,093	1,182,093
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
川口市内を主な活動拠点とする市民団体、(財)川口市体育協会に加盟している団体、レクリエーションの普及啓発事業、指導者の資質向上に関する事業、競技選手の育成事業に関する事業を支援するものである。	スポーツ・レクリエーションの各事業に多くの方が参加できるよう各種の広報を展開するなどの周知をおこなっており年々参加者数が増加していることからスポーツの振興に寄与したものである。

残されている課題

高齢化の進行や地域社会への関心の高まりなどにより、地域でのスポーツ活動に対するニーズが増大かつ多様化することが考えられることから、積極的に市民参加のスポーツクラブの育成を図るとともに、各種スポーツ団体の活動を支援し、市民のスポーツへの参加意欲を高めるなど、市民スポーツの活性化を図る必要がある。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	更なる各種の広報活動を行い多くの方にスポーツ・レクリエーションの素晴らしさを知っていただけるよう検証・研究し、継続して競技スポーツおよび生涯スポーツの普及あるいは市民スポーツの振興に努めていく。
	達成されている	

外部評価	評価結果	コメント
	達成されている (前回評価結果)	参加者数や参加率の増加傾向からも、市民の関心の高さが窺える。今後も、事故のない様、安全面・効率面からも各種事業を効果的に行い、引続き入念な準備と大会運営を工夫するとともに、団体活動の支援やスポーツクラブの育成等を図り、地域社会におけるスポーツ・レクリエーション活動の更なる普及に努めてほしい。
	達成されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度	22年度事業
--------	--------

施策コード	241	施策名称	2章4節 スポーツ・レクリエーション活動の支援
-------	-----	------	-------------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費	事業費		
			概算人件費	概算人件費		
2410012	流水プール場・アイススケート場運営事業	グリーンセンター	63,411	65,894	/	現状維持で実施
			8,800	8,800		
2410022	中学校・高等学校運動指導者派遣事業	体育課	1,789	1,938	/	現状維持で実施
			870	860		
2410032	各種体育大会開催事業	体育課	420	443	/	現状維持で実施
			174	172		
2410042	川口市体育三賞事業	体育課	288	378	/	現状維持で実施
			2,349	2,322		
2410052	市民選手権大会事業	体育課	3,207	3,207	/	現状維持で実施
			8,700	8,600		
2410062	川口マラソン大会事業	体育課	9,415	9,415	/	現状維持で実施
			8,700	8,600		
2410072	都市交歓スポーツ大会事業	体育課	3,242	3,242	/	現状維持で実施
			8,700	8,600		
2410082	競技力向上事業	体育課	19,582	19,582	/	現状維持で実施
			8,700	8,600		
2410092	市民体育祭事業	体育課	963	1,108	/	現状維持で実施
			3,480	3,440		
2410102	スポーツセンタースポーツ教室開催事業	体育課	955	1,316	/	現状維持で実施
			34,800	43,000		
2410112	スポーツセンター施設貸出事業	体育課	753,369	742,327	/	現状維持で実施
			169,200	167,400		
2410122	体育指導委員事業	体育課	10,597	12,450	/	現状維持で実施
			5,280	5,160		
2410136	学校体育奨励交付金	体育課	2,000	1,900	/	現状維持で実施
			870	860		
2410146	体育協会事業交付金	体育課	5,415	5,415	/	現状維持で実施
			3,480	3,440		
2410156	レクリエーション協会事業交付金	体育課	2,500	2,700	/	現状維持で実施
			870	860		
2410166	スポーツ少年団事業交付金	体育課	1,000	900	/	現状維持で実施
			6,960	6,880		
2410176	社会体育奨励交付金	体育課	11,935	11,935	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2410186	県代表選手派遣交付金	体育課	3,231	3,400	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2410196	スポーツレクリエーション傷害見舞金	体育課	97	803	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
2410206	ソーデーマーチ実行委員会交付金	体育課	1,000	1,500	/	現状維持で実施
			4,350	4,300		
2410216	体育指導委員協議会事業交付金	体育課	1,520	1,120	/	現状維持で実施
			2,610	2,580		
					/	
					/	
					/	
					/	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実		
主担当	教育総務部	体育課	電話番号	2091	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

本市は、伝統的にスポーツが盛んで多くのスポーツ団体が設立され、さらに市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識も高まっており、そのニーズのひとつである施設整備の充実を図るとともに、市民スポーツの活性化を促進し、健康増進やスポーツ人口の拡大を図るもの。

指標①	名称	スポーツ施設の利用稼働率			単位	%	指標の種類	成果
	算式等	利用単位数÷利用可能単位数×100						
	目標値根拠	直近の過去3年間における平均利用稼働率						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	61.1						
	実績値・達成状況	65.1	達成					
指標②	名称	スポーツ施設数			単位	施設	指標の種類	活動
	算式等	市内のスポーツ施設数(青木町公園総合運動場、各スポーツセンター、体育武道センター)						
	目標値根拠	施設設置数						
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値	9	9	9	9	9		
	実績値・達成状況	9	達成					
指標③	名称				単位		指標の種類	
	算式等							
	目標値根拠							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)		
	目標値							
	実績値・達成状況							

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額	
	事業費	302,000	302,000	302,000	302,000	
	概算人件費	6,960	6,880	6,880	6,880	
	総事業費	308,960	308,880	308,880	308,880	
事業費及び概算人件費の変動要因						

取り組みの内容	取り組みの成果
引き続き指定管理者制度を導入している戸塚スポーツセンター及び青木町公園総合運動場・体育武道センターにおいては、民間ノウハウの活用で施設の有意義な管理運営に努めるもの。また、施設整備においては、安全・安心な施設の管理運営に必要な修繕及び工事を行うものである。	指定管理者制度導入から3年目を迎えた戸塚スポーツセンターにおいては、市の指定管理者制度評価委員会で「概ね良好である」との評価であり、指定管理者制度導入の成果があったものである。なお、安全・安心な施設の管理運営に努め施設の不備等による事故等は無かった。

残されている課題

老朽化した施設の整備及び、改修工事においては、限られた財源で全てを実施することは困難であり、重要事業と位置付け要望しているものの難しい状況である。その中でも北、新郷の両スポーツセンターにおいては、築後39年以上経過している状況であることから、今後も関係機関に強く要望していくものである。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	平日の夜間や土・日・祝日の利用が抽選になっていることなどから、施設への利用状況は全体的に高いものと言えるが、屋内施設の平日の日中や附帯施設である会議室等の有効活用に努めるもの。なお、施設によっては改築も含め今後計画的に整備するよう関係各課に働きかけるものである。
	どちらかという改善されている	

外部評価	評価結果	コメント
	達成されている (前回評価結果)	指定管理者制度が導入された施設については、開館時間の延長や独自事業の実施により施設稼働率もよく、運営が良好になされているようなので、他の体育施設についても検討してほしい。なお、指標に設置済の施設数をあげているが、今後の目標を掲げるにふさわしい指標への変更を検討してほしい。
	どちらかという改善されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	242	施策名称	2章4節 スポーツ施設の整備・充実
-------	-----	------	-------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度	23年度	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			事業費 概算人件費	事業費 概算人件費		
2420011	戸塚スポーツセンター管理運営事業	体育課	147,000 3,480	147,000 3,440	/	現状維持で実 施
2420022	青木町公園総合運動場・体育武道 センター管理運営事業	体育課	155,000 3,480	155,000 3,440		

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用		
主担当	教育総務部	社会教育課	電話番号	222-1061	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)
 貴重な文化財や伝統文化、さらには文化的・歴史的資料の保存・活用に努めるとともに、市民に情報を提供することにより、地域に根ざした市民文化を振興し、市民が郷土の歴史と文化に対して誇りと愛着をもてる地域社会の実現を目指す。

指標①	名称	文化財調査報告会開催事業				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	報告会の募集人数							
	目標値根拠	報告会の参加率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	108.0	達成						
指標②	名称	赤山城跡保存整備事業				単位	m ²	指標の種類	活動
	算式等	赤山城跡保存整備事業用地の購入面積							
	目標値根拠	赤山城跡保存整備事業として購入予定面積							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	857.3	638.1	1040.7	1190.3				
	実績値・達成状況	857.3	達成						
指標③	名称	指定文化財補助金				単位	%	指標の種類	活動
	算式等	指定文化財の維持管理補助金交付率							
	目標値根拠	指定文化財の維持管理に係る補助金交付率							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	100.0	達成						

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額
	事業費	49,378	39,949	38,358	55,251
	概算人件費	3,305	3,268	3,268	3,268
	総事業費	52,683	43,217	41,626	58,519
事業費及び概算人件費の変動要因					

取り組みの内容	取り組みの成果
文化財に関する調査や事業の情報を市民に提供するための報告会や遺跡発掘現場での現地説明会等を実施し、また、文化財活用事業として、社会科見学、歴史教室等の支援事業を実施した。一方、補助金や交付金を通して、指定文化財の維持管理を行った。	報告会等を通して、文化財の保護や活用に関する様々な調査や事業に関する情報を市民にいち早く提供することができ、学校教育課程における小学校・中学校の授業の支援を行った。また、補助金・交付金を通して、指定文化財の保護ができた。

残されている課題
 赤山城跡保存整備事業における事業用地の取得に努め、更なる事業の推進が必要である。また、インターネット等の媒体を通して指定文化財や見学ルートを紹介することにより、市民が文化財をより身近に感じられる存在とし、アイデンティティの育成に努める必要がある。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている (前回評価結果)	文化財など地域の歴史遺産や伝統文化の保存と継承には、中・長期的な観点から取組を計画的に実施することが必要である。また近年、文化財保護行政は景観行政や観光、まちづくりなどの部局との連携が要求されるようになってきたことから、これに対応できる専門職員の育成も図る必要がある。
	どちらかという改善されている	

外部評価	評価結果	コメント
	達成されている (前回評価結果)	赤山城跡保存整備事業は、歴史的資料に加え観光資源にも十分なりうるので、事業の推進に向け今後も取り組むとともに、文化財センターを中心に、文化財の保護と活用に取り組んでほしい。なお、指標については、文化財センターの利用者数などの方が市民に判りやすいので、今後検討してほしい。
	達成されている	

施策評価調書(2)

評価対象年度	22年度事業
--------	--------

施策コード	261	施策名称	2章6節 文化財の保護と活用
-------	-----	------	----------------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2610012	文化財調査報告会開催事業	社会教育課	25	25	/	現状維持で実施
			695	688		
2610023	赤山城跡保存整備事業	社会教育課	47,244	37,506	/	縮小して実施
			2,610	2,580		
2610036	指定文化財補助金	社会教育課	2,109	2,418	/	拡充して実施
			0	0		
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	
					/	

注)事業名の末尾に*マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用		
主担当	教育総務部	社会教育課	電話番号	内線 3100	

目的(誰が(何が)、どのような状態になることを意図しているか)

市内の古文書等の市・資料を中心に収集・保管・研究・管理を行うとともに、市民が利活用できるよう情報化し、これを提供することを目的とする。

指標①	名称	古文書史料データベース化				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	データ化数/所蔵古文書等×100							
	目標値根拠	現在の所蔵古文書等を全てデータ化							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	100.0	達成						
指標②	名称	写真資料データベース化				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	データ化数/所蔵写真数×100							
	目標値根拠	現在の所蔵写真を全てデータ化							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値・達成状況	100.0	達成						
指標③	名称	川口市産業年表稿の作成				単位	%	指標の種類	成果
	算式等	年表に編集した年/明治元年～平成23年							
	目標値根拠	明治期から平成23年(現在)まで川口市の産業として編集した年							
	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標年度(27年度)			
	目標値	50.0	95.0	100.0					
	実績値・達成状況	47.0	未達成						

*「達成状況」: 目標値達成(目標値と同値を含む)を「達成」、目標値未達を「未達成」、インフルエンザや天災等による未達を「—」としています。

事業額	(単位:千円)	22年度決算見込額	23年度予算額	24年度計画額	25年度計画額	
	事業費	50	50	50	50	
	概算人件費	0	0	0	0	
	総事業費	50	50	50	50	
事業費及び概算人件費の変動要因						

取り組みの内容	取り組みの成果
かつて、市史編さん事業において収集(寄贈・寄託等)した古文書のデータベース化やマイクロヒルム化を推進した。	データベース化により収蔵資料の検索が容易にできるようになった。

残されている課題

古文書史料の解説と活字化(出版)の推進による活用推進、史資料に含まれる個人情報や不適切用語の処理等の検討が当面の課題。さらに、課題解決のため不足している古文書解説者の養成も検討課題である。また、本施設は施設を転用したことから、専門的に古文書を管理するに不十分であり、施設修繕、管理機器の設置等が必要であるが、現在の財政状況の中では困難になっている。

総合評価	評価結果	評価結果をふまえた今後の取り組み方向
	達成されている	古文書等の原史料の状態では、活用が困難であるため、公開の環境が整うまで古文書等が劣化しないように配慮し収集・保管・管理に重点におくとともに古文書は解説を行い利用しやすいよう活字しまとめ刊行する。出来るだけ可能な史料を重点に行う。
	(前回評価結果)	
達成されている		

外部評価	評価結果	コメント
	どちらかという改善されている	人的資源や財政面など多くの課題があるとは思いますが、価値観や生活様式が変わる中で、文化財や古文書を保存・継承していくことは重要である。市民が歴史的文書を有効に活用するためにも、文書の保管・管理における情報化処理を着実に進めてほしい。なお、事業については、総合計画を精査するなどして施策にふさわしいものを複数検討してほしい。
	(前回評価結果)	
達成されている		

施策評価調書(2)

評価対象年度 22年度事業

施策コード	262	施策名称	2章6節 歴史的文書の保存と活用
-------	-----	------	------------------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位: 千円)

事業コード	事業名称	担当課	22年度 事業費	23年度 事業費	費用対効果 /対前年度 比	23年度の取 り組み
			概算人件費	概算人件費		
2620016	川口市郷土史会補助金	社会教育課	50 0	50 0		現状維持で実 施

注)事業名の末尾に* マークがある事業は、隔年実施等の理由により評価対象年度に事業費が計上されていません。

